

# Azure SQL Managed Instance について調べる

100 XP

4 分

Azure SQL Managed Instance は、スケーラブルなクラウド データ サービスであり、フル マネージドのサービスとしてのプラットフォームのすべての利点を含めた、幅広い SQL Server データベース エンジンとの互換性を提供します。シナリオによっては、Azure SQL Managed Instance によりデータベースのニーズに応じた追加オプションがより多く提供される場合があります。



## 機能

Azure SQL Database と同様に、Azure SQL Managed Instance はサービスとしてのプラットフォーム (PaaS) データベース エンジンです。これは、フル マネージドの環境でデータをクラウドに移行するために最適な機能を会社が活用できることを意味します。たとえば、会社で高価なハードウェアを購入して管理する必要がなくなり、オンプレミスのインフラストラクチャを管理するための追加のオーバーヘッドを維持する必要もなくなります。一方で、Azure の迅速なプロビジョニングとサービス スケーリングの機能が、自動パッチ適用やバージョン アップグレードと共に利用できます。また、組み込みの高可用性機能と 99.99% のアップタイム サービス レベルアグリーメント (SLA) により、必要なときにいつでも自分のデータが存在することが保証されるので安心できます。自動バックアップと、構成可能なバックアップ保持期間によってデータを保護することもできます。

Azure SQL Database と Azure SQL Managed Instance には、数多くの同じ機能が用意されています。ただし、Azure SQL Managed Instance には、Azure SQL Database では使用できない可能性があるオプションがいくつか用意されています。たとえば、Tailwind Traders では現在 SQL Server を実行しているオンプレミス サーバーをいくつか使用されており、その既存のデータベースをクラウドで実行されている SQL データベースに移行したいと考えています。しかし、一部のデータベースでは、照合順序にキリル文字が使われています。このシナリオでは、Tailwind Traders はデータベースを Azure SQL Managed Instance に移行する必要があります。Azure SQL Database で使用されるのは既定の `SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS` サーバー照合順序のみであるためです。

## 注意

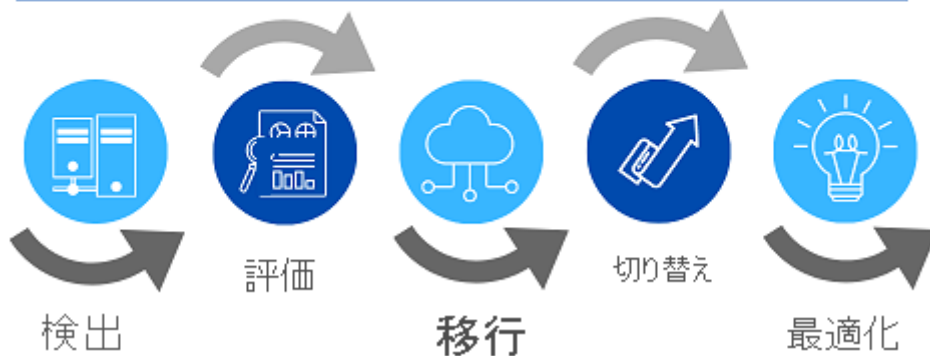
Azure SQL Database と Azure SQL Managed Instance の相違点の詳細については、「**機能の比較: Azure SQL Database と Azure SQL Managed Instance**」を参照してください。

## 移行

Azure SQL Managed Instance により、Azure Database Migration Service (DMS) またはネイティブのバックアップと復元を使用して、SQL Server 上のオンプレミスのデータをクラウドに簡単に移行できるようになります。会社で使用されているすべての機能を検出したら、どのオンプレミス SQL Server インスタンスを Azure SQL Managed Instance に移行できるかを評価して、ブロッキングの問題が発生していないかを確認する必要があります。問題をすべて解決したら、データを移行し、アプリケーションの接続文字列を変更してオンプレミスの SQL Server から Azure SQL Managed Instance に切り替えます。

### 移行プロセスフロー

ステップバイステップガイド



#### 注意

移行プロセスの詳細については、「**移行ガイド:SQL Server から SQL Managed Instance**」を参照してください